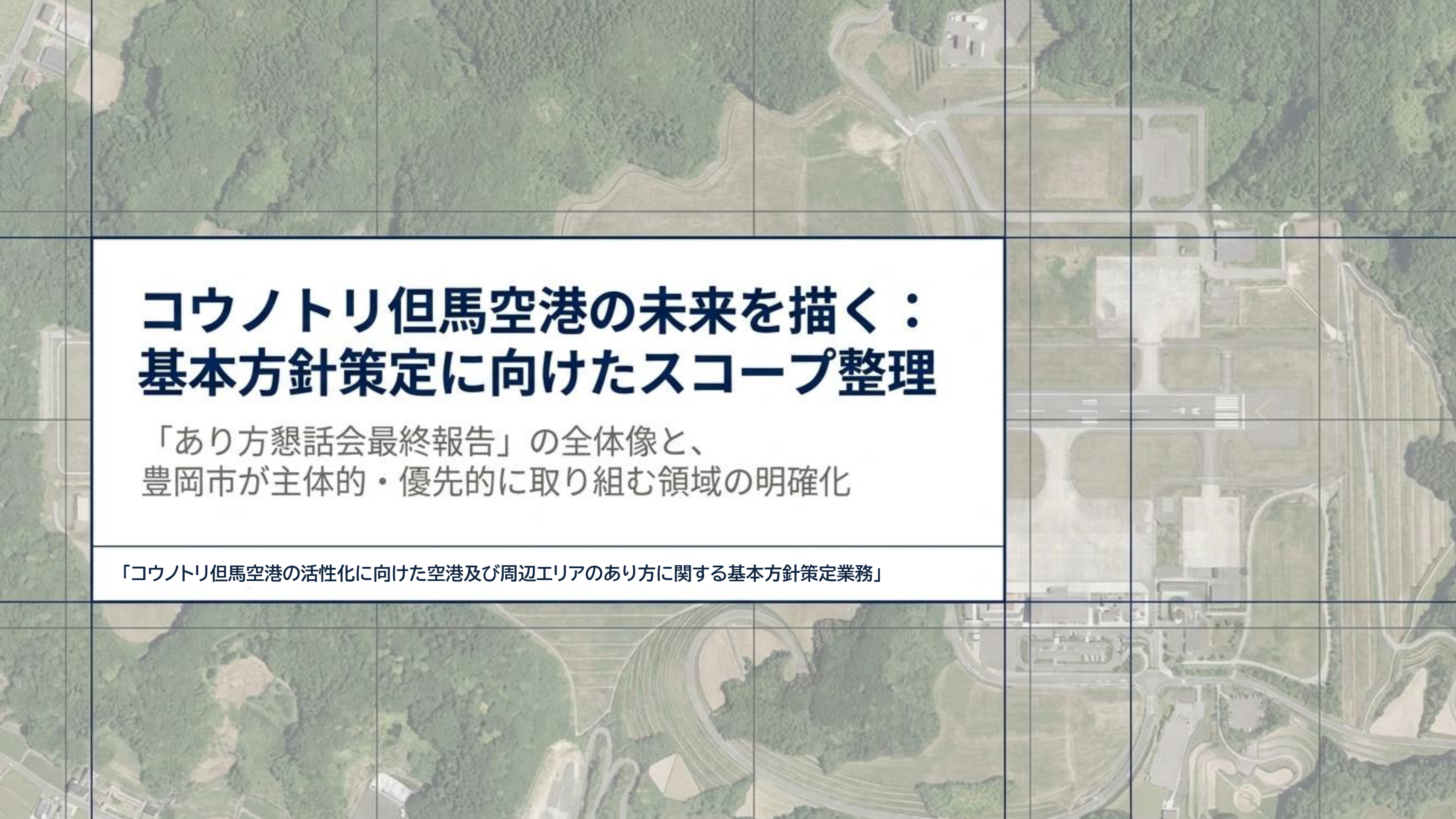




コウノトリ但馬空港の未来を描く： 基本方針策定に向けたスコープ整理

「あり方懇話会最終報告」の全体像と、
豊岡市が主体的・優先的に取り組む領域の明確化

「コウノトリ但馬空港の活性化に向けた空港及び周辺エリアのあり方に関する基本方針策定業務」

本業務の位置づけ：「最終報告」の全体像から、本市が担う役割を抽出

あり方懇話会の幅広い提言を前提としつつ、市が主体的・優先的に取り組める機能を具体化する

【前提】「コウノトリ但馬空港のあり方懇話会」最終報告

・ 航空・空港利用促進

・ 滑走路等の基盤整備

・ 市民交流の促進

・ 広域防災機能の強化

本市が主体的・優先的に
取り組むべき機能を抽出

【本業務の対象スコープ】 基本方針の策定



・ 空港及び周辺エリアの
多角的な活用



・ 交通結節点の充実



・ 賑わい創出拠点の整備



・ 災害時の拠点機能強化

「コウノトリ但馬空港」クロスモビリティハブ構想(案)」全体像

安心して「訪れる」・「暮らせる」ことのできる但馬へ

「地域活力の創生(日常)」と「地域防災機能の強化(非日常)」を両立する次世代の空と陸の結節点

構想の背景

令和8年9月「コウノトリ但馬空港あり方懇話会」(学識者・地元関係者構成)の最終報告に基づく。環境変化や地域課題を踏まえ、今後の地域振興のために果たすべき3つの役割を定義

①交通結節点としての機能 ②市民交流等の拠点 ③広域防災拠点

交通結節点

① 交通拠点の整備(バスターミナル化)

- ・高速バス・路線バスの停留場拠点
- ・バス会社の営業所・整備場
- ・路線バス等の車庫スペース
- ・パーク&ライド機能の整備 等



交流と賑わいの創出

④ 道の駅機能の整備

- ・道路情報提供及び休憩施設
- ・地域振興施設の併設

⑤ 賑わいの創出

- ・子育て世代が集まれる公園の設置
- ・地域振興施設を通じた魅力発信



空の次世代モビリティ

② 空飛ぶクルマに関する取組み

- ・城崎地域の離発着場との連携
- ・機体の保管・整備場の整備

③ ヘリコプター操縦士の養成

- ・新たな訓練場としての活用展開



クロスモビリティハブ

広域防災の要

⑥ 地域防災機能の強化

- ・自衛隊・警察・TEC-FORCE等の救援活動拠点
- ・緊急物資等の基地機能
- ・復旧復興活動の際前線拠点
- ・「防災道の駅」としての登録推進 等



【日常】新たな人の流れと交流を生む
「地域活力の創生」

【有事(非日常)】但馬地域の命と生活を守り抜く
「地域防災機能の強化」